

『わたし、パリにいったの』

たかどのほうこ/著 のら書店

おねえちゃんのはなちゃんは、パリに行ったことがあります。アルバムを見ながら妹のめめちゃんに思い出話をしてくれます。「わたしもパリに行ったもん」と、めめちゃんは言います。お母さんのお腹の中にいたから何も見えていないはず。それなのに…。姉妹のかわいらしい物語です。



『かくれているよ海のなか』

高久至/写真 かんちくたかこ/文 アリス館

えびやカニ、魚たちは自分の姿に似ている岩や海、イソギンチャクのあいだにかくれています。敵から自分の身を守るためですが、その姿がともおもしろいです。模様や形がそっくりなので、どこにかくれているのか見つけられるかな。ちょっと難しいですよ。



『変身する生きものずかん②変身する系』

柴田佳秀/監修 鈴木出版

それまでの姿から、ちがった色や形に変わることや“変身”といいますが、茶色の毛のホッキョクギツネは冬になると、白い毛になります。シロイルカは夏になると、岩に皮をこすりつけて脱皮(皮をぬぐこと)をします。えものに気づかれないためや、成長のために変身します。他にも、様々な理由から驚くような変身をする生き物が紹介されています。



『中村征夫の写真絵本 サンゴと生きる』

中村征夫/写真・文 茅根創/監修 大空出版

サンゴは800種類あり、その中の400種類が沖縄の海にいます。しかし、地球温暖化で半分以上のサンゴが死んでしまいました。きれいな海に美しいサンゴ。この景色を守るために、私たちができることは何でしょう。まずサンゴを知ることからはじめましょう。本の中には、サンゴの体のつくりや、何を食べているかなども紹介されています。



しもぎょう
としょかんだより
2021 なつ

1年生
2年生

『たけのこ なんのこ?』

わたし達が食べているたけのこがどんな風に育つか知っていますか?土から芽を出し、15日目には1mまでのびます。あるたけのこの皮を数えたら47枚もありました。それは、土をおしのけて出てくる時に、岩などに当たっても、中身がきずつかないようにするためです。たけのこから竹になった様子がよくわかって、おもしろいですよ。



『モンスター・ホテルでおばけやしき』

柏葉幸子/作 高富純/絵 小峰書店

まちはずれのあきビル。ここはモンスター・ホテルです。ある晩。「くやし〜」と泣いているのはゆうれいのおなつさん。理由を聞くと…。まちにある遊園地のおばけやしきで人間がちょっと怖がってくれないようです。それならいい作戦がある!ドラキュラやろくろ首たちも協力します。さあ、うまく怖がらせることができるでしょうか。



『富士山にのぼる 増補版』

石川直樹/著 アリス館

日本一高い山、富士山。日が暮れるまで歩いた後は、寝る準備をします。テントをはり、雪をとかして水をつくり食事をします。夜中には強い風がふき、テントがゆれるので目がさめることも多いそう。富士山ののぼり方と、山のふもとの森や、植物、動物についても紹介されています。富士山に登ってみたい気持ちになりますよ。



『7年目のランドセルランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる新学期』

うち堀タケシ/写真・文 国土社

6年生が終わると、ランドセルは使われなくなります。けれど、日本から6000キロはなれたアフガニスタンで活躍するランドセルがあります。色えんぴつ、ノートなどの文房具が入ったランドセルを先生からわたされた子ども達は大喜び。とおく離れた国で必要とされているランドセルの再利用のおはなしです。



『ヘビと船長』

ふしみみさを文 ポール・コックス/絵 BL出版
船をうしない、ほそぼそと暮らす船長がいました。ある日、ヘビが話しかけてきました。「船大工のところへ行き、がんばりな船を作ってもらってください。そしてたくましい舟のりを12人やとってください。」船長はヘビの言う通りにしました。その後、船をだし、着いた先は自らの真赤なおばあさんがいる家でした。ヘビはまた船長にある事をおねがいました。



『はろるとのそらのたび』

クロケット・ジョンソン/作 小宮由/訳 出版ワークス
はろるとはクレヨンでロケットを書きました。そのロケットに乗って空高く飛んで行きました。月を超え、火星まで行くと、空とぶえんばんに乗っている「こわいやつ」にでくわしました。はろるとは、無事に地球にもどれるでしょうか。想像力豊かなはろるとの楽しい冒険の物語です。



『かくれみの』 川村たかし/文 村上豊/絵 ひかりのくに

ある日、ひこいち、着ると姿が見えなくなるかくれみのを手にいれました。かくれみのを着て町に出ると、寺の鐘を鳴らしたり、荷車を引く牛のしっぽをひっぱったりとわるさをしました。家に帰り昼寝をしていると、お母さんが、みのを燃やしてしまいました！



『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』

キース・ネグラー/作 石井睦美/訳 光村教育図書
ちょっと昔、女の子は、ズボンをはいてはいけませんでしたが。でもそんなのおかしい、と思ったメアリーは、町にズボンをはいていきました。すると町は大騒ぎ。メアリーは、とても辛い思いをしました。物語はアメリカであった本当のお話です。「男性の服を着ているのではありません。わたしはわたしの服を着ているのです。」という素敵なセリフが出てきます。



『一年生なんだもん めざましくんと大とくくん!』

村上しいこ/作 ひがしちから/絵 学研プラス
くみちゃんは一年生。ある朝、めざまし時計が寝坊をしてしまいました！さあ大変。朝から大慌てです。なんとめざましくんも一年生だったのです。お互いに力を合わせ、遅刻せずに学校に行く特訓がはじまりました。



『はっぴょう会への道』

山本悦子/作 下平けすけ/絵 PHP研究所
がくしゅうはっぴょうかい やくぎ 学習発表会の役決め。ひなこはセリフの少ない水の役に立候補しました。「この役しかできない」と言ったゆみちゃんに水の役をゆずってあげましたが、残った役はセリフの多いやまんばの役。ひなこはうまくできず、おこられてばかりです。本番ではうまくできるのでしょうか。



『でんごんゲーム』

宮下すずか/作 市居みか/絵 くもん出版
国語の授業で、でんごんゲームをしました。「おばあさんが、すべてころんでかわいそうだった」という文章が、「おばさんが、すべて、かわうそになった。」と最後の子に伝わっていました。これには、クラス中大笑い。聞いたことを伝えていだけなのに、きちんと伝わらないものです。次の日、クラスのモモちゃんがケガをしました。ケガについてみんなが聞いた内容は、少しずつ違っていました。あれあれ、なんだかおかしいことになってきましたよ。



しもぎょうとしょかん

〈ばしよ〉下京区の新町通と松原通が交るところを南に少し行ってね。修徳公園の北側にあります！
〈あいている時間〉月・水～金曜日
午前9時半～午後7時
(しばらくの間)
土・日曜日・祝日
午前9時半～午後5時
(火曜日はおやすみ！)

